

## 令和3年度 国立市まち・ひと・しごと創生懇話会 議事要旨

- 1 日 時 : 令和3年8月17日火曜日 19:00~20:10
- 2 場 所 : ウェブ会議システムによるオンライン (市役所庁舎3階 第4会議室)
- 3 出席者 : 【委員】  
細野委員、荒木委員、田中委員、井田委員、榎本委員、竹内委員  
【事務局】  
政策経営部政策経営課 蓑島課長、佐藤、山本
- 4 傍聴者 : 2名
- 5 議 事 : (1) 座長あいさつ  
(2) 第2期国立市まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標及び重要業績評価指標 (K P I) の中間値報告について  
(3) 第2期国立市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (修正計画) について  
(4) 今後の予定について
- 6 配布資料 : ・資料No.1 第2期総合戦略 重要業績評価指標 (K P I) 進ちょく状況一覧  
・資料No.2 国立市の人口推移  
・資料No.3 国立市第5期基本構想第2次基本計画 (修正計画) (案) (第2期国立市まち・ひと・しごと創生総合戦略)  
・参考資料No.1 人口の動き (令和2年中) 結果の概要【東京都総務局】  
・参考資料No.2 区市町村、変動要因別人口 (総数)【東京都総務局】  
・参考資料No.3 区市町村別人口の推移 (昭和31年~令和3年)【東京都総務局】  
・追加配布資料 磯部委員提供「8月17日開催の「まち・ひと・しごと創生懇話会」意見書」

### 7 内 容

#### (1) 座長あいさつ

- 細野座長より以下のとおり挨拶があった。

新型コロナウイルス感染症の陽性者数は減少することなく、日々増加する傾向にある。そういった状況の中、今回の会議では、新型コロナウイルス感染症による影響を反映した、第2期国立市まち・ひと・しごと創生総合戦略の修正案も出ているので、忌憚のないご意見をいただきたい。

(2) 第2期国立市まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標及び重要業績評価指標（K P I）の中間値報告について

事務局より資料No.1に基づき、重要業績評価指標（K P I）の実績値について、変化が顕著だったものについて説明を行った。その後、資料No.2及び参考資料No.1に基づき、国立市及び東京都の人口の動きについて説明を行った。

(3) 第2期国立市まち・ひと・しごと創生総合戦略（修正計画）について

事務局より資料No.3に基づき説明を行った後、議題(2)に関することを含め、委員内で意見交換等を行った。

委員

- 東京都内間での人口の動きについて、新型コロナウイルス感染症の影響で多摩地区に移住してくる人が激増すると私は考えていたが、資料No.1の表7・8の都内間の移動増減（日本人）を見ると、区部での人口減は5,666人で、多摩地区の人口増は5,513人に止まっている。多摩地域の魅力をもっとアピールする必要があると感じた。

委員

- デルタ株による急激な感染拡大が発生していることもあり、感染拡大防止の対策には、「飛沫感染の防止」や「ソーシャルディスタンスの確保」という文言も追加してほしい。

委員

- テレワークが普及してきているが、私立学校や有名学習塾などは区部に集中している。学齢期の子どもがいる家庭では、こうした学校からの転校をしてまで多摩地域に移転しにくいのではないかと思う。こうした観点から、教育環境を整えることが少子化対策に向けて重要であると考えます。

委員

- 資料No.1の10ページ、指標『商店街によるイベント数』の令和2年度実績値が41件となっているが、私の周囲ではそれほどイベントが実施された印象はなく、実績値の数だけイベントができているような達成感は感じられない。

委員

- 資料No.1の1ページ、指標『女性相談件数』の令和2年度実績値が令和元年度実績値に比べ大きく伸びているが、その背景等を教えてほしい。

事務局

- コロナ禍での外出自粛要請に伴い、外で発散できていたストレス等が家庭内に持ち込まれることとなり、結果としてDV等が発生してしまい、それに関する相談が増えてい

るのではないかと推測している。

委員

- 増えている相談がDVなどの相談であれば、これを一過性のものとして捉えるのではなく、継続的に市が支援していく必要がある。

委員

- K u n i - B i z の進捗状況はどうなっているか。

事務局

- K u n i - B i z は、市内の中小企業者等の売り上げ拡大に向けた支援を無料で行うビジネスコンサルティングセンターである。相談業務を中心とした人による支援が肝となるため、現在は、センター長候補者の選考、研修に時間をかけている。2021年度秋から冬頃には開設される予定である。

委員

- 高齢期に向けて50代から地域で新たな仕事をしたい方が増えている。リカレント教育の機会を確保するとともに、シルバー創業センターの開設を検討してほしい。

委員

- 世の中はコロナ対応でてんでこ舞いとなっている状況であるが、患者数の比率に関して、国立市は相対的には低い水準にあるが、医療機関等は逼迫した状況になってきており、自宅療養等の重要度が増してきている。こういった状況になった際、地域の医療体制も大事だが、地域の力、コミュニティの自立的な意識が重要と考えており、地域の人的資源を通常時にどれだけ豊かに育成していくかが大事だと考える。貧困や引きこもりなど、コロナ対策に限らず地域のすべての課題に関係していくと考えている。

委員

- 地域の力という観点から考えると、身の回りの地域で何かをしたい、やろうとしている人が増えていると感じる。こうした人材をスモールビジネスとして活かすことで、商業の活性化にもつながる。また、例えばNPOやボランティアなど、それぞれの活動をつなげていくネットワークが必要である。

委員

- 個人的には、ほぼテレワークの日常となっており、多くはない自宅を出る機会しか、人とかかわることがない。国の基本指針で掲げている「ヒューマン、デジタル、グリーン」のうち、デジタルとグリーンを推進することは当たり前である。特に「ヒューマン」の部分に力を入れ、ソーシャルキャピタルとして魅力的な人を国立市に招いてくるには何が必要か考える必要がある。食のまちづくりでも「食」と「人」がセットとなってブ

ランドを作っていくことが重要である。

#### 委 員

- 人との接触に機会がなくなり、芸術のように自分を表現することに飢えているように感じる。市内にある芸術に関する人材や場所を見直し、市の魅力となるように充実させていくことが大切である。

#### (4) 今後の予定について

- 1 議事要旨については要点記録で委員に確認後、市ホームページにて公開予定。
- 2 令和3年度の会議は今回のみとし、次回は令和4年度に開催を予定している。
- 3 今回の任期は、令和3年8月19日までとなり、ひとまず今回の会議をもって、任期満了となる。委員の皆様には多大なるご協力をいただき、感謝申し上げます。

以 上